

## 所作は心を表す

校長 嶋見 靖之



梅雨前のさわやかな晴天が続きます。玄関付近では、ポットにまいたあさがおやひまわりなどの種が芽を出し、野菜の苗はすくすくと育っています。2年生は地域の方から教えていただきながらサツマイモの苗を植えました。子どもたちは水やりなどお世話を頑張っています。夏から秋の開花や収穫が楽しみです。植物が育つ姿に喜びと元気をもらっています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、相川小学校は4月25日～5月10日の間、臨時休業を行いました。休業明けの11日、登校した全員がマスクをつけていました。私は思わず「すごいなー」とつぶやきました。そして「皆さんと会えて嬉しいです」と伝えました。登校できる喜びを感じました。

社会は新しい生活様式の下で生活が始まっています。今日の全校朝会では、「マスク」「手洗い」「換気」「ソーシャル・ディスタンス（一定の距離を保つ）」をもとにした生活が続くことを子どもたちに話しました。これらのことが子どもたちの生活習慣になるよう、励ます構えで身に付けさせていきたいと考えています。

教育活動も、市教育委員会ガイドラインを基に感染拡大防止に配慮していきます。そのため年度当初の計画と時期や内容を変更したり、時には中止したりすることもあります。これからもたよりやホームページでお知らせしていきますので、ご家庭・地域の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

今日の全校朝会では、私がずっと感心していることも話しました。それは児童会給食委員会のことです。全校給食での食事の合図は給食委員が行っています。給食委員は全員の前に立ち、礼をしてアナウンスを始めます。この礼に感心しています。礼は無言で行われますが、その所作には、相手への敬意、話を聴いてほしいという願いなど、様々なメッセージが込められていると思います。無言の中にメッセージを感じるのは私たちの感性なのだろうと思います。それができる子どもたちは素晴らしいと思っています。

返礼ができる子どもたちもいます。返礼からは「わかったよ」、「がんばって」などのメッセージが聞こえてきそうです。所作は心を表します。あいさつをはじめ、礼・返礼や会釈のやりとりは心を通わす大事なコミュニケーションです。